



令和8年1月1日現在	
総人口	12,280人
男	5,967人
女	6,313人
世帯数	5,560世帯
島内公民館	電話 47-0264
	FAX 40-1264

八幡馬

～年を笑顔で～



青森県八戸市の木彫りの
郷土玩具。福島県の三春駒、
宮城県の木下駒と並んで日本
三駒と呼ばれている。青森
県の伝統工芸品に指定され
ている。

馬体は黒、赤、白木を基本
に千代紙と手描きで色鮮や
かな装飾がされている。

八幡馬の製作者大久保優子
さんは青森県出身、現在は島
内在住。「松本で作っている
のだから松本の人にも知つて
もらいたい」と、一昨年と昨
年の島内文化ふれあいまつり
に八幡馬を展示しました。

大久保家は青森県八戸市で
代々農家の副業として明治初
年頃から八幡馬を「鉈一刀彫」
で製作してきました。優子さ
んが五代目です。

優子さんは2002年、夫
の仕事で松本に転居。その際
松本技術専門校を知り、以前
から考えていた八幡馬の製作
に取組むために同校を受験、
木材工芸を学びました。「松
本に来なければできなかつ
たかもしれませんね。」以来、
自宅アパートの台所を主な作
業場として八幡馬を製作、専
門校の恩師の助言で、小型で



名人といわれた父、直次郎
さんは青森県でただひとり鉈
一刀彫を守ってきましたが、
3年前に他界。後に後継者は
無く、優子さんがその技を繼
ぎ、昨年から、託された鉈で
の製作に取組んでいます。「鉈
一刀彫は難しいですが挑戦し
ていきます」と優子さん。

た、「馬の顔が笑っているの
で、八幡馬を見る人は笑顔に
なります。そんな八幡馬を多く
の人に知つてもらえたなら嬉しいです」と穏やかな笑顔で
話します。

④島内地区で見つかっている
最も古い人類の痕跡は、今か
ら約1万年前の縄文時代に使
われた土器である。

⑤梓川は昔から水量が安定し
ていて、島内の平地には古墳
時代からずっと大きな村が栄
えていた。

10月に行われたスポーツ
フェスティバルin島内では、
島内地区にまつわる○×クイ
ズが行われ、参加者の皆さん
から大変好評でした。ここでは、当日出題された問題も含
めて、クイズを5問出題しま
す。是非挑戦してみてください。
(回答は裏面です)

①島内地区で一番多い苗字は
高山(高山)である。

②昔、この地域にあった平瀬
城は、松本盆地を見渡せる丘
の上にあるが、城は主に食料
の貯蔵のために使われていた。
③島内地区の平瀬には、平安
時代末期にその名を留める
「平瀬法住寺跡」が残されて
おり、この地の歴史の古さを
物語っている。

島内クイズ



